

一般競争入札を行いますので、京都市契約事務規則第28条の3の規定に基づき、次のとおり公告します。

平成20年12月18日

京都市長 門川大作

1 入札に付する事項

(1) 役務等件名及び予定数量

ア	(単価契約) 南部クリーンセンター焼却残滓搬出運搬業務	約47,800 t
イ	(単価契約) 東北部クリーンセンター焼却残滓搬出運搬業務	約50,900 t
ウ	(単価契約) 北部クリーンセンター焼却残滓搬出運搬業務	約30,500 t
エ	(単価契約) 東部クリーンセンター焼却残滓搬出運搬業務	約33,700 t

(2) 役務の特質等

入札説明書及び仕様書（以下「入札説明書等」という。）のとおりに

(3) 契約期間

アからエまですべて平成21年4月1日から平成23年3月31日まで

(4) 履行場所

ア 積込場所

- (ア) 京都市伏見区横大路八反田29番地
南部クリーンセンター
- (イ) 京都市左京区静市市原町1339番地
東北部クリーンセンター
- (ウ) 京都市右京区梅ヶ畑高鼻町27番地
北部クリーンセンター
- (エ) 京都市伏見区石田西ノ坪2番地18
東部クリーンセンター

イ 指定処分地(上記ア 積込場所の各クリーンセンターから下記2箇所)

(7) 東部山間埋立処分地 (エコランド音羽の杜及び焼却灰溶融施設 (仮称))

京都市山科区東野東山, 西野東山, 柳辻東山

京都市伏見区醍醐上山田, 醍醐陀羅谷他

事務所所在地 埋立事業管理事務所 京都市伏見区醍醐上山田1番地

(4) 大阪湾広域臨海環境整備センター尼崎基地 (大阪湾処分地)

尼崎市平左衛門町70番地

2 入札参加資格に関する事項

次の表の左欄に掲げる入札参加資格の種類に応じ、それぞれ同表の右欄に掲げる資格をいずれも満たす者

入札の前に確認する資格(以下「事前確認資格」という。)	(1) 一般競争入札参加資格確認申請書を提出しようとする日(以下「申請日」という。)の前日において京都市契約事務規則(以下「規則」という。)第4条第1項に規定する一般競争入札有資格者名簿若しくは規則第22条第1項に規定する指名競争入札有資格者名簿に登載されている者(以下「登録業者」という。)又は登録業者以外の者で申請日の前日までに平成20年11月25日付け京都市告示第357号(以下「告示」という。)に定める資格の申請について本市が受理していること。
	(2) 申請日から事前確認資格の確認の日までの間において、京都市競争入札等取扱要綱(以下「要綱」という。)第29条第1項の規定に基づく競争入札参加停止(以下「参加停止」という。)を受けていないこと。
	(3) 本件入札に参加しようとする個人、法人の代表者又は個人若しくは法人の代表者の委任を受けた者(以下「代表者等」という。)が、本件入札に参加しようとする他の代表者等と同一人

でないこと。

(4) 平成15年4月1日以後に一般廃棄物収集運搬の作業に係る契約を締結し、平成20年3月31日までに当該契約の履行を支障なく完了した実績（自己の一般廃棄物を自ら収集運搬した実績及び専ら再生利用の目的となる一般廃棄物の収集運搬した実績を除く。）があること。

(5) 貨物自動車運送事業法第3条に規定する許可を有していること。

(6) 業務の履行に使用しようとする運搬用車両（以下「車両」という。）が、いずれも次の条件を満たしていることが証明できること。

なお、入札手続き中及び契約履行中の車両の変更は、車両の損壊その他のやむを得ない事情による場合を除き認めない。

ア 仕様書に定める台数、寸法、荷台容積、構造その他の仕様（特殊仕様に係る部分を除く。）に合致する車両により契約を履行することができること。

イ 車両は、許可権者に産業廃棄物収集運搬車両としての届け出を行っていないこと。

ウ 車両は、貨物自動車運送事業法第3条に規定する許可に基づく事業用貨物車（グリーンナンバー車）であること。

(7) 日々の確実な運搬体制を確保するため、運転手が午前7時30分から午後5時30分までの間、常駐している所在地（事務所又は車庫）（以下、「運転手常駐所在地」という。）が当該クリーンセンターまで1時間以内の場所にあること。運転手常駐所在地と車庫が異なる場合は、運転手常駐所在地から車庫までの移動時間を含めて当該クリーンセンターまで1時間以内の場所にあること（それぞれの間の距離を直線距離で計測し、時速20kmで移動するものとして計算するものとする。）。

	(8) 車両が、仕様書の「8車両等の条件」(ただし、(1)のイ、(2)のウ及びエを除く。)に合致するものであること。
開札の後に確認する資格(以下「事後確認資格」という。)	(9) 登録業者以外の者で、申請日の前日までに告示に定める資格の申請について本市が受理した者にあつては、開札の時までに告示に定める資格を有する者であると認められていること。
	(10) 事前確認資格の確認の日から事後確認資格の確認の日までの間において、参加停止を受けていないこと。

3 入札説明書等及び一般競争入札参加資格確認申請書の交付

入札説明書、仕様書及び一般競争入札参加資格確認申請書については、公告の日から平成21年1月9日(金)まで、下記(1)のウェブページに掲載するとともに、下記(2)の場所においても、無償で交付する。ただし、下記(2)の場所における無償配布の交付時間は、京都市の休日を定める条例に規定する本市の休日(以下「休日」という。)を除く日の午前9時から午後5時まで(ただし、正午から午後1時までの時間帯を除く。)とする。

(1) 京都市理財局財務部調度課のウェブページのアドレス

<http://www.city.kyoto.jp/rizai/chodo/>

(2) 交付場所

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

京都市役所本庁舎1階

京都市理財局財務部調度課

電話 075-222-3315

4 入札方法等

(1) 入札は、次に掲げる方法のいずれかによる。

ア 電子入札コアシステムに対応している認証局が発行したＩＣカード（本市に提出済みの「使用印鑑届」の代表者名と同一人のもの又は受任者がいる場合には受任者の氏名と同一人のもので、かつ、落札決定までの期間において有効であるものに限る。）を取得したうえで、京都市電子入札システムへの利用者登録を行っている者が、インターネットを利用して入札データを送信する方法（以下この方法により入札しようとする者を「インターネット利用者」という。）

イ 入札端末機利用者カード（規則第６条第４項に規定する入札端末機利用者カードをいう。）の交付を受けている者が、京都市理財局財務部調度課（以下「調度課」という。）に設置する入札端末機（規則第６条第２項に規定する入札端末機をいう。以下同じ。）を使用することにより入札データを送信する方法（以下この方法により入札しようとする者を「端末機利用者」という。）

ウ 書留郵便により入札書を送付する方法（以下この方法により入札しようとする者を「郵便利用者」という。）

(2) インターネット利用者は、５(1)イにより入札参加資格確認申請書を送信しようとする日の前日までに京都市電子入札システムの利用者登録を行っていないなければならない。また、所定の期日までに利用者登録したインターネット利用者であっても、５(1)イに定める期限までに京都市電子入札システムに入札参加資格確認申請書を送信しなかった者はインターネットを利用して入札データを送信することはできない。この場合において、その者（平成２１年１月９日（金）午後５時までに、３(2)の場所に５(1)アの提出書類を別途提出し、事前確認資格があると認められた者に限る。）は入札期間の終了の１時間前までに、入札端末機の一時使用の申請を行ったときは、入札端末機を使用して入札データを送信することができる（入札端末機利用者カードの発行を受けていないときは、あらかじめ、入札端末機利用者カードの発行を申請し、同カードの発行を受けておくこと。）。

- (3) 端末機利用者が、入札端末機利用者カードの発行を受けていないときは、入札期間の終了の1時間前までに、入札端末機利用者カードの発行を申請し、同カードの発行を受け入札すること。
- (4) 落札決定にあたっては、入力又は記載された金額に当該金額の100分の5に相当する額を加算した金額（当該金額に0.01円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、指定処分地ごとに見積もった契約希望単価の105分の100に相当する金額（当該金額は、0.01円単位までとすること）に1(3)の契約期間におけるそれぞれの予定数量を乗じたもの（以下「小計」という。）の合計金額（以下「総価」という。）を、入力又は記入すること。
- (5) 落札決定は、総価の比較によって行う。
- (6) 契約の締結は、単価契約により行う。契約金額は、指定処分地ごとの小計を1(3)の契約期間におけるそれぞれの予定数量で割り戻した単価（当該金額に0.01円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた金額）に当該金額の100分の5に相当する額を加算した金額（当該金額に0.01円未満の端数があるときは、その端数を切り上げた金額）とする。
- (7) 入札の前に予定価格を公表するが、入札の前に入札参加者の数又は商号（法人にあっては名称）の公表は行わない。

5 事前確認資格の確認の手続

- (1) 入札に参加しようとする者は、次の表の第1欄に掲げる入札方法による区分に応じ、それぞれ第2欄に掲げる提出方法により、それぞれ第3欄に掲げる受付期

間内において、下記アに掲げる書類を提出しなければならない。

なお、指定する期間内に必要な書類を提出しない者又は事前確認資格がないと認められた者は、本件入札に参加することができない。

ア 提出書類

(7) 一般競争入札参加資格確認申請書

(イ) 添付書類

2(4)、(5)、(6)、(7)及び(8)に掲げる条件に係る証明書類

イ 提出方法等

第1	第2	第3
インターネット利用者	5(1)ア(7)の一般競争入札参加資格確認申請書については、京都市電子入札システムにおいて必要事項を入力し、送信すること。5(1)ア(イ)に掲げる書類については、3(2)の場所へ持参し、又は書留郵便を到着させること。	5(1)ア(7)の一般競争入札参加資格確認申請書及び5(1)ア(イ)のうち2(4)、(5)、(6)及び(7)に掲げる条件に係る証明書類については、公告の日から平成21年1月9日(金)までの午前9時から午後5時まで(休日を除く。) 5(1)ア(イ)のうち2(8)に掲げる条件に係る証明書類については、平成21年1月30日(金)までの午前9時から午後5時まで(休日を除く。)
端末機利用者	3(2)の場所へ持参し、又は書留郵便を到着させること。	5(1)ア(7)の一般競争入札参加資格確認申請書及び5(1)ア(イ)のうち2(4)、(5)、(6)及び(7)に掲げる条件に係る証明書類については、公告の日から

		<p>平成21年1月9日（金）までの午前9時から午後5時まで（休日を除く。）</p> <p>5(1)ア(イ)のうち2(8)に掲げる条件に係る証明書類については、平成21年1月30日（金）までの午前9時から午後5時まで（休日を除く。）</p>
郵便利用者	3(2)の場所へ持参し、又は書留郵便を到着させること。	<p>5(1)ア(ア)の一般競争入札参加資格確認申請書及び5(1)ア(イ)のうち2(4), (5), (6)及び(7)に掲げる条件に係る証明書類については、公告の日から平成21年1月9日（金）までの午前9時から午後5時まで（休日を除く。）</p> <p>5(1)ア(イ)のうち2(8)に掲げる条件に係る証明書類については、平成21年1月30日（金）までの午前9時から午後5時まで（休日を除く。）</p>

(2) 事前確認資格の確認

一般競争入札参加資格確認申請書の受領後、事前確認資格の確認を行い、その結果を次の表の左欄に掲げる入札方法による区分に応じ、それぞれ同表の右欄に掲げる方法により通知する。この場合において、資格がないと認められた者に対しては、その理由を付して通知する。

なお、平成21年2月3日（火）から2月5日（木）までの間に、東部山間埋

立処分地において、業務の履行に使用する車両が2(8)の資格を満たしているかの車両検査を実施する。ただし、2(4)から(7)のうち一つでも資格要件を満たさない者に対しては、車両検査は行わない。車両検査を行う者に対しては、その日時を、別途連絡する。

インターネット利用者	事前確認資格の確認結果を電子入札システムにより確認するよう平成21年2月13日(金)までに電子メールを送信する。
端末機利用者及び郵便利用者	平成21年2月13日(金)までに、一般競争入札参加資格確認通知書により通知する。

(3) 事前確認資格がないと認められた者に対する理由の説明

ア 事前確認資格がないと認められた者は、市長に対し、書面により、事前確認資格がないと認められた理由の説明を求めることができる。

イ 5(3)アの規定により理由の説明を求めようとする者は、5(2)の規定による通知を受けた日から次の表の提出期限の日時までの間に、書面を3(2)の場所へ持参し提出しなければならない(受付時間は、休日を除く日の午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時までに限る。)。市長は、書面の提出があったときは、同表の発送期日の月日までに書面による回答を発送する。

提出期限	発送期日
平成21年2月19日(木)午後5時	平成21年2月25日(水)

(4) 重複車両による入札参加資格の確認の申請

入札参加資格の確認の申請については、同一車両により1(1)ア、イ、ウ及びエに掲げる業務に係る競争入札(以下「対象競争入札」という。)の全部又は一部について重複して行うことができる。

(5) 入札手続中の車両の使用制限

車両は、一般競争入札参加資格確認申請書の提出の日以後、産業廃棄物の運搬

に供してはならない。ただし、一般競争入札参加資格確認申請書の提出期限の日の翌日から入札期間の初日の前日までの期間（以下「用途変更許容期間」という。）において産業廃棄物の運搬の用に供しようとするため、あらかじめ、本市に対して「産業廃棄物収集運搬誓約書」を提出した場合を除く。

6 入札説明書等に対する質問期限及び回答期日

- (1) 入札説明書等に対して質問しようとする者は、市長に対し、質問事項、住所、商号及び氏名（法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名、届出済みの受任者（以下「受任者」という。）がある場合には、受任者に係る事務所の所在地及び氏名）を記載、押印した書面を6(2)の表の提出期限までに、3(2)の場所へ持参し提出しなければならない（受付時間は、休日を除く日の午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時までに限る。）。
- (2) 市長は、6(1)による質問を受けたときは、次の表の回答期日までに質問に対する回答書を、3(1)のウェブページに掲載するとともに、3(2)の場所において閲覧できるようにする。

なお、受付期間の経過後は、入札説明書等に対する質問は、一切受け付けない。

提出期限	回答期日
平成21年1月9日（金）午後5時	平成21年1月23日（金）

7 入札期間及び開札日時等

(1) 南部クリーンセンター焼却残渣搬出運搬業務

ア 電子入札システムによる入札期間

電子入札システムによる入札期間は、次の表の左欄に掲げる入札方法による区分に応じ、それぞれ同表の右欄に掲げる期間及び時間とする。

インターネット利用者	平成21年2月27日(金) 3月2日(月) 3月3日(火) (午前9時から午後5時まで)
端末機利用者	平成21年2月27日(金) 3月2日(月) 3月3日(火) (午前9時から正午まで、及び午後1時から午後5時まで)

なお、3(2)の場所に設置した入札端末機の利用を希望する者で、入札端末機利用者カードの交付を受けていない者は、入札期間の終了の時刻の1時間前までに所定の手続きをすること。

イ 書留郵便による入札期間

平成21年3月3日(火)午後5時までに、3(2)の場所に必着させること。

ウ 開札日時

平成21年3月4日(水)午前10時から開札する。

(2) 東北部クリーンセンター焼却残滓搬出運搬業務

ア 電子入札システムによる入札期間

電子入札システムによる入札期間は、次の表の左欄に掲げる入札方法による区分に応じ、それぞれ同表の右欄に掲げる期間及び時間とする。

インターネット利用者	平成21年3月3日(火) 3月4日(水) 3月5日(木) (午前9時から午後5時まで)
------------	--

端末機利用者	平成21年3月3日(火) 3月4日(水) 3月5日(木) (午前9時から正午まで、及び午後1時から午後5時まで)
--------	---

なお、3(2)の場所に設置した入札端末機の利用を希望する者で、入札端末機利用者カードの交付を受けていない者は、入札期間の終了の時刻の1時間前までに所定の手続きをすること。

イ 書留郵便による入札期間

平成21年3月5日(木)午後5時までに、3(2)の場所に必着させること。

ウ 開札日時

平成21年3月6日(金)午前10時から開札する。

(3) 北部クリーンセンター焼却残滓搬出運搬業務

ア 電子入札システムによる入札期間

電子入札システムによる入札期間は、次の表の左欄に掲げる入札方法による区分に応じ、それぞれ同表の右欄に掲げる期間及び時間とする。

インターネット利用者	平成21年3月5日(木) 3月6日(金) 3月9日(月) (午前9時から午後5時まで)
端末機利用者	平成21年3月5日(木) 3月6日(金) 3月9日(月) (午前9時から正午まで、及び午後1時から午後5時まで)

5時まで)

なお、3(2)の場所に設置した入札端末機の利用を希望する者で、入札端末機利用者カードの交付を受けていない者は、入札期間の終了の時刻の1時間前までに所定の手続きをすること。

イ 書留郵便による入札期間

平成21年3月9日(月)午後5時までに、3(2)の場所に必着させること。

ウ 開札日時

平成21年3月10日(火)午前10時から開札する。

(4) 東部クリーンセンター焼却残渣搬出運搬業務

ア 電子入札システムによる入札期間

電子入札システムによる入札期間は、次の表の左欄に掲げる入札方法による区分に応じ、それぞれ同表の右欄に掲げる期間及び時間とする。

インターネット利用者	平成21年3月9日(月) 3月10日(火) 3月11日(水) (午前9時から午後5時まで)
端末機利用者	平成21年3月9日(月) 3月10日(火) 3月11日(水) (午前9時から正午まで、及び午後1時から午後5時まで)

なお、3(2)の場所に設置した入札端末機の利用を希望する者で、入札端末機利用者カードの交付を受けていない者は、入札期間の終了の時刻の1時間前までに所定の手続きをすること。

イ 書留郵便による入札期間

平成21年3月11日（水）午後5時までに、3(2)の場所に必着させること。

ウ 開札日時

平成21年3月12日（木）午前10時から開札する。

8 事後確認資格の確認

- (1) 開札後、事後確認資格の確認を行う。確認を行った結果、事後確認資格がないと認められたときは、その者の行った入札は無効とする。

なお、事後確認資格の確認の結果については、通知を行わない。

- (2) 事後確認資格がないと認められた者は、落札決定日の翌日から5日（日数の計算に当たっては、休日を除く。）以内に請求があった場合に限り、事後確認資格がないと認めた理由を口頭により通知する。ただし、上記期間内に、書面による通知を請求する旨の書面による請求があった場合には、書面による通知を行う。

9 競争入札参加資格の確認の取消し

市長は、入札参加資格があると認めた者が、次の各号のいずれかに該当することとなったときは、その者の入札参加資格を取り消す。この場合において、確認の取消し対象となった入札参加資格が事前確認資格であるときは、その者に対し、その旨を通知するものとする。

- (1) 落札決定の日時までに、規則第2条の規定により告示し、又は要綱第14条の規定により定めた2の入札参加者の資格を喪失したとき。
- (2) 事前確認資格の確認後、落札決定の日までの期間に、要綱第29条第1項の規定に基づく競争入札参加停止を受けたとき。
- (3) あらかじめ「産業廃棄物収集運搬誓約書」を提出せずに用途変更許容期間内において産業廃棄物の運搬の用に供したとき及び当該期間外に産業廃棄物の運搬の

用に供していたことが判明したとき。

(4) (1)、(2)及び(3)に掲げるもののほか、本件入札に参加する者に必要な資格を欠くこととなったとき。

(5) その他市長が特に入札に参加させることが不相当であると認めたとき。

10 重複競争入札参加における入札参加資格の取消し

同一車両により対象競争入札の全部又は一部について重複して入札参加資格の確認の申請を行い、同一車両により入札参加資格があると認められた対象競争入札（以下「重複競争入札」という。）が複数あった場合において、重複競争入札のうちいずれかの競争入札において落札者となったときは、当該競争入札の落札決定後に落札決定を行う重複競争入札の参加資格は、取消すものとする。

11 落札決定日及び落札者の決定方法

(1) 落札決定日

南部クリーンセンター焼却残滓搬出運搬業務	平成21年3月4日（水）
東北部クリーンセンター焼却残滓搬出運搬業務	平成21年3月6日（金）
北部クリーンセンター焼却残滓搬出運搬業務	平成21年3月10日（火）
東部クリーンセンター焼却残滓搬出運搬業務	平成21年3月12日（木）

(2) 落札者の決定方法

予定価格の範囲内で入札し、かつ、事後確認資格があると認められた者の中で、最低の価格をもって入札した者を落札者とする。

12 落札決定の通知等

(1) 落札決定の通知

落札者に対しては、落札した旨を以下のとおり通知する。

ア 落札者がインターネット利用者である場合

落札結果を電子入札システムで確認するよう電子メールを送信する。

イ 落札者が、端末機利用者又は郵便利用者である場合

落札決定日の午後4時以降に電話により通知する。

(2) 落札者以外の入札参加者に対する通知

ア インターネット利用者である場合

落札結果を電子入札システムにより確認するよう、電子メールを送信する。

イ 端末機利用者又は郵便利用者である場合

落札決定日の翌日から5日（日数の計算に当たっては、休日を除く。次号において同じ。）以内に請求があった場合に限り、落札結果を口頭により通知する。ただし、上記期間内に、書面による通知を請求する旨の書面による請求があった場合には、書面による通知を行う。

(3) 落札者以外の入札参加者に対する書面による理由説明

落札者とならなかった者は、落札決定日の翌日から5日以内に、その理由について説明を求めることができる。回答は、口頭又は書面（請求が書面によるもので書面による通知を請求したものである場合に限り。）により行う。

(4) 入札の執行結果の公表

入札の執行結果は、原則として落札決定日の翌日午後1時から、調度課ウェブページ又は調度課室内での入札執行結果表の閲覧により、確認できるようにする。

13 入札の無効

- (1) 京都市契約事務規則第6条の2各号（第3号を除く。）に定めるもののほか、一般競争入札参加資格確認申請書その他の提出書類に虚偽の記載をした者が行った入札は、無効とする。

(2) この入札において、代表者等と同一人である者の双方が入札したことが判明したときは、当該代表者等及び同一人である者のした入札は、規則第6条の2第13号に基づきそれぞれ無効とするとともに、競争入札参加停止を行う。

また、この入札により落札者を決定した場合において、契約を締結するまでの間に、落札者となった代表者等が、この入札において入札した他の代表者等と同一人であったことが判明したときは、契約を締結せず、それぞれについて競争入札参加停止を行う。

14 禁止事項

(1) 本件入札において落札し、契約の相手方となった者（以下「契約者」という。）は、本件入札において互いに競争相手であった落札者以外の者（以下「非落札者」という。）から契約の履行に必要な物件（落札者の商標を付して製作された物件を除く。以下同じ。）又は役務を調達してはならない。

(2) 非落札者は、契約者に対して、契約の履行に必要な物件又は役務を契約者に供給してはならない。

(3) 前2号の規定は、契約者が、非落札者以外の者を経由して非落札者から契約の履行に必要な物件又は役務を調達したとき及び特許権その他の排他的権利に係る物件の調達その他のやむを得ない事由により、非落札者から契約の履行に必要な物件又は役務の一部を調達する必要があるため、あらかじめ文書による本市の承諾を得た場合は適用しない。

15 予算不成立の場合の無効

本件調達に係る予算が成立しないときは、この公告は無効とする。この場合において、本件調達のために行った準備行為等に係る費用が既に発生していても、落札者は、その費用を京都市に請求することはできない。

16 その他

- (1) この契約は、京都市長期継続契約に関する条例の適用を受けるものであり、京都市は、翌年度以降において当該委託料に係る歳出予算の金額について減額又は削除があった場合は、この契約を解除することができる。
- (2) 前項の規定により、京都市がこの契約を解除した場合において、契約者は、京都市が翌年度以降に支払いを予定していた委託料を請求することはできない。
- (3) 契約者は、前項に定めるもののほか、京都市がこの契約を更新しなかったために生じた損害の賠償について、京都市に請求することはできない。
- (4) この調達は、政府調達に関する協定の適用を受けるものである。
- (5) 手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。
- (6) 入札保証金及び契約保証金 免除
- (7) 契約書作成の要否 要
契約書は京都市標準契約書を使用する。
- (8) 詳細は、入札説明書による。
- (9) 本公告に関する問い合わせ先 3(2)の交付場所に同じ。

17 Summary

- (1) Nature and quantity of the service to be required:

Transportation of residue from Incineration Plants:

- ① South District Incineration Plants, Approximately 47,800t
- ② North-East District Incineration Plants, Approximately 50,900t
- ③ North District Incineration Plants, Approximately 30,500t
- ④ East District Incineration Plants, Approximately 33,700t

- (2) Time-limit for the submission of application forms and relevant documents for the qualification: 9 January, 2009

(3) Time-limit of tenders:

- ① 5:00p.m. 3 March, 2009
- ② 5:00p.m. 5 March, 2009
- ③ 5:00p.m. 9 March, 2009
- ④ 5:00p.m. 11 March, 2009

(4) Contact point for the notice: Supplies Section, Finance Division,

Finance Bureau, City of Kyoto

Teramachi-Oike, Nakagyo-ku, Kyoto 604-8571, Japan

Phone 075-222-3315

(理財局財務部調度課)